



4月3日 大般若 転読

雲林寺報

第3号
2009年夏号
各妻郡長野原町73
大洞山 雲林寺
TEL.0279-82-2201

お子さんに伝えるべき仏事作法の基本

雲林寺住職 轟 紀久

お葬式やご法事にお子さんが参加することは少なくありません。日常と違う雰囲気の中で、緊張は高まるばかり。お父さん、お母さん、おじいさん、おばあさんにお願ひします。機会をみて、仏事作法の基本を教えてあげて下さい。その教えは大人になってからも役立つに違いありません。

① 仏教徒の挨拶は合掌です。文字通り掌(たなごころ)つまり左右の手の平を合わせることを合掌といいますが、指と手の平をピッタリと合わせるのが基本です。

② 礼拝(らいはい)はゆっくりと礼拝はまず背筋をまっすぐ伸ばして合掌をします。そして、そのままゆっくりと頭を下げると美しい礼拝になります。

③ お焼香はあわてず、焼香台の前に進み、ご本尊や遺影に向かって合掌礼拝します。次に焼香を親指と人さし指、中指の三本指で軽くつまみ、こぼれないように左の手の平で受け、軽く捧げてから香炉に少しづつゆっくりと落とします。座って行う焼香はまずご仏前やお仏壇の前に進み座布団の一手前で一礼した後、座布団に上がり、合掌礼拝をします。そして焼香を終えて座布団より下がり一礼して自分の席に戻ります。

④ お線香を上げる時には、お線香をたむけた後、合掌、礼拝すると良いでしょう。作法は心の表現ですから、正しく心をこめて行う事が大切である事をお子さんに教えて下さい。

仏事作法を教える事は、お子さんの「やさしい心」「み仏や自分以外の人を敬う心」を育てる、大切な家庭教育にほかなりません。

曹洞宗第六教区護持会主催 国宝瑞龍寺と総持寺祖院参拝 能登半島和倉温泉1泊2日の旅

期日：平成21年10月28日(水)
～10月29日(木)
宿泊：和倉温泉ゆけむりの宿
美浜荘
費用：36000円
募集人員：90名

恒例となっております「六教区護持会」主催の参拝旅行。今年は総持寺祖院を中心に能登半島を巡ります。是非お誘い合わせのうえご参加下さい。



総持寺祖院・・・元享元年(1321年)に瑩山禪師が開き、永平寺と並ぶ曹洞宗の修行寺として栄えてきました。その後、明治31年(1898年)の大火で多くを焼失し、本山は神奈川県鶴見へと移されました。現在では、祖院として、大本山のおもかげを偲ばせる幽玄な寺院となっています



龍泰院出村老師による講義風景

今年は大本山総持寺前貫首であり、福井県御誕生寺御住職の板橋興宗禅師を迎え、講話をされます。県大会に向けて、課題曲を中心にこれからの練習していきたいと思います。梅花の県大会がどのようなものかご覧になりたい方はどうぞご連絡下さい。随時講員を募集しております。

去る六月九日、梅花特派布教師の巡回が行われました。今回は茨城県大子町より龍泰院住職出村尚英老師をお招きし、当雲林寺を会場に常林寺講、無量院講の皆様、約九十名の講員さんが九時半開会、途中昼食をはさみ午後三時開会まで熱心に受講されました。



熱心にお唱えする講員さん

梅花流たより

第1回雲林寺親睦ゴルフコンペ

☆檀信徒限定!! 参加者募集中☆

開催日：平成21年10月12日(月・祝)

集合：草津カントリークラブ 8:00 / 8:45スタート

募集人員：40名 参加費：12000円(プレー費・パーティー代)

プレー終了後、雲林寺本堂で結果発表、景品授与等パーティーを開催致します。各地区の世話人、又は雲林寺へ直接お申込み下さい。

草津カントリークラブ

クラブハウスからの眺め

編集後記

去る六月二十一日、私が実行委員長をつとめさせて頂きました。群馬県曹洞宗青年会主催による一泊二日の「禅の集い」が迦葉山にて無事終了しました。

今年で第四十七回を迎えますが、五十三年もの参加者が集まり、当雲林寺からも檀信徒の方八名がご参加下さいました。お忙しい中、誠にありがとうございました。終了後、「気持ち良かった」「穏やかな時間が過ぎた」等参加して良かったとお言葉を数多く頂戴しました。

今回は「和合」というテーマで坐禅会を行わせて頂きましたが、青年会員、参加者が共に手を取り合って参禅する姿をまのあたりにすると沢山の人の力を改めて思い知らされました。

日々の生活の中にもこの「和合」の精神をもって大自然に生かされていくことに感謝しつつ弁道精進したいものです。

副住職 轟 省吾

53人が座禅体験
県曹洞宗青年会(堀江成道会長)の第47回群馬緑蔭禅の集いが20日、沼田市の迦葉山龍華院弥勒護国禪寺で行われ、県内外から参加した53人が座禅や作務などに取り組んだ。



静まり返った座禅堂で座禅に取り組む参加者

「禅の集い」が上毛新聞に取り上げられました。(記事の一部)

